

コミュニティ・スクールの取組状況に関する調査 令和7年度10～11月実施

宮城県総合教育センター
特別支援教育研究グループ

目 次

I	調査結果の概要	
	宮城県内のコミュニティ・スクールの取組状況結果	1

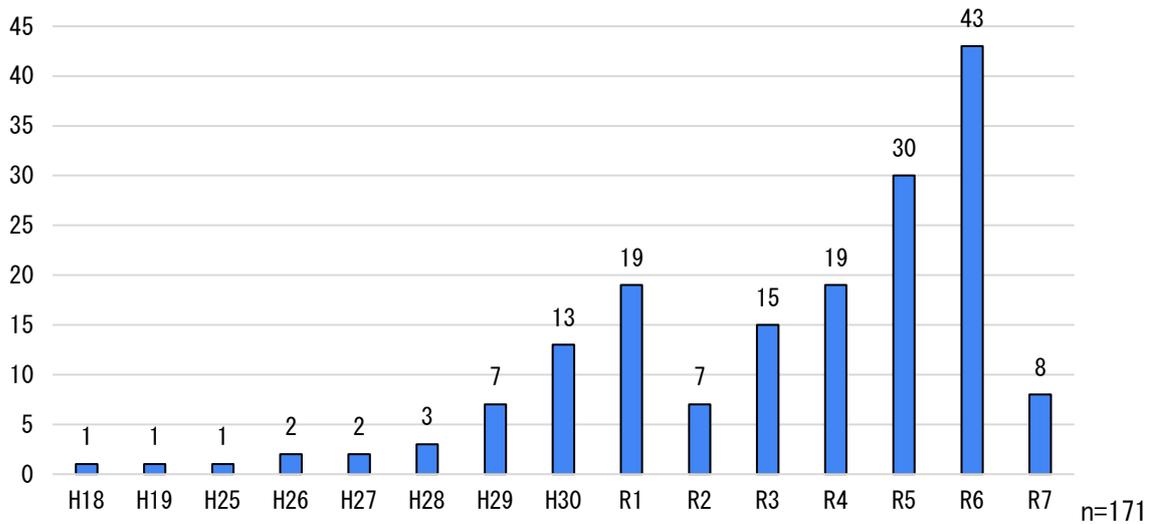
I 調査結果の概要

宮城県内のコミュニティ・スクールの取組状況

1 回答者属性について

【コミュニティ・スクール導入年次】数字のみご記入ください。 例) 2025

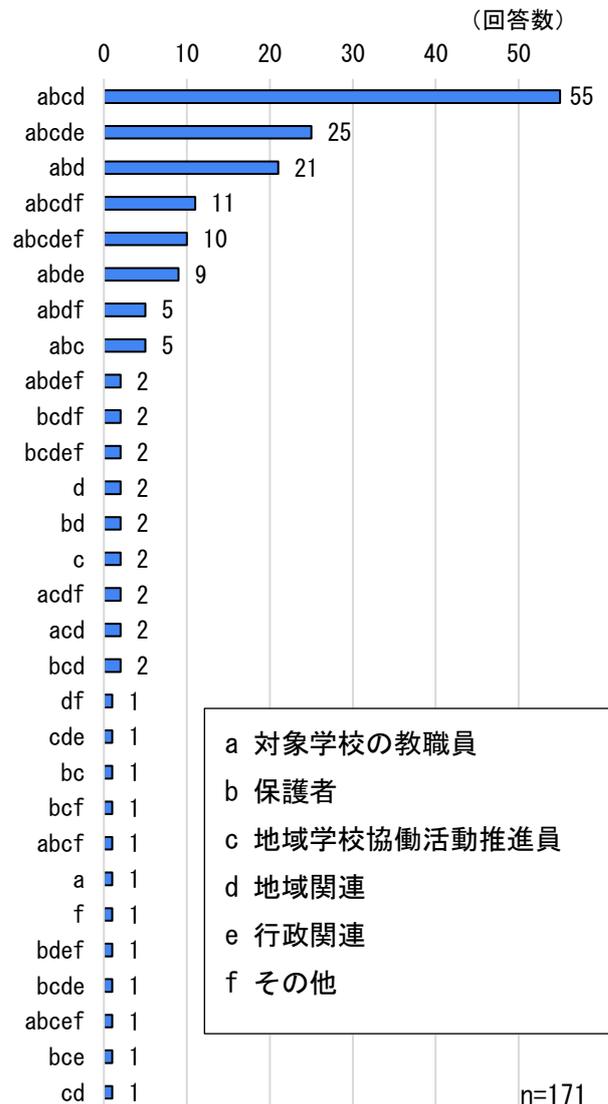
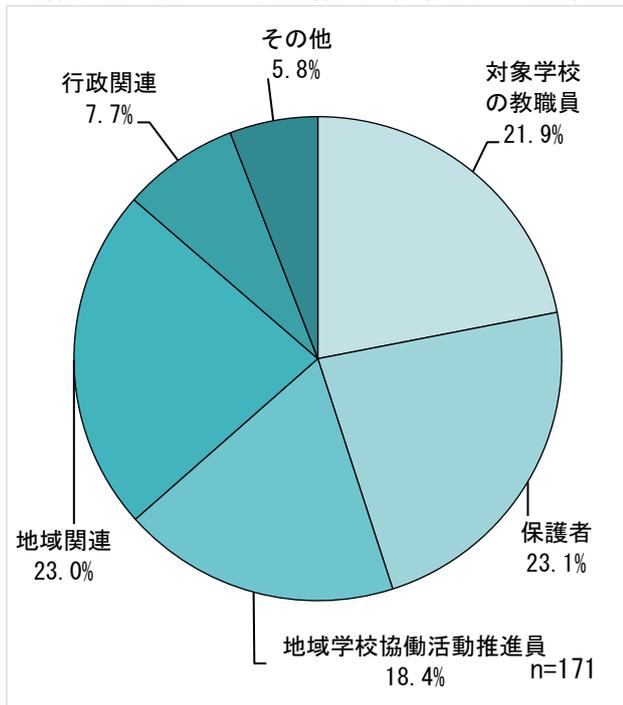
(校)



2 コミュニティ・スクールの運営体制について

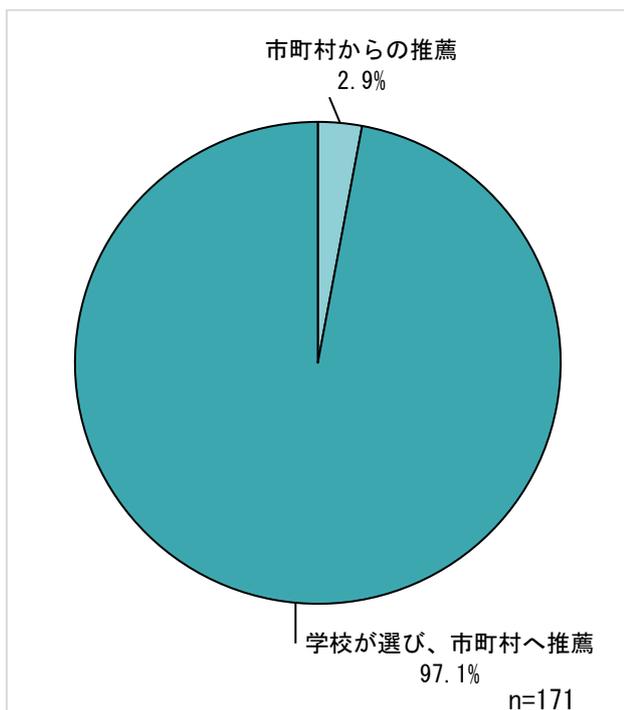
【学校運営協議会規定事項に関する状況①】

学校運営協議会の委員は、どのような選出枠組で構成されていますか。複数の立場を持っている場合には、主たる立場でご回答ください。



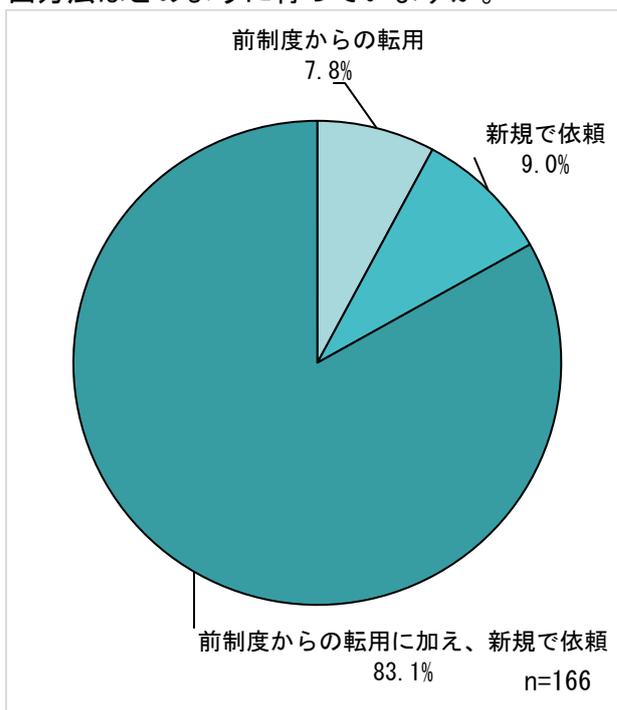
【学校運営協議会規定事項に関する状況②】

学校運営協議会の委員の選出方法はどのように行っていますか。



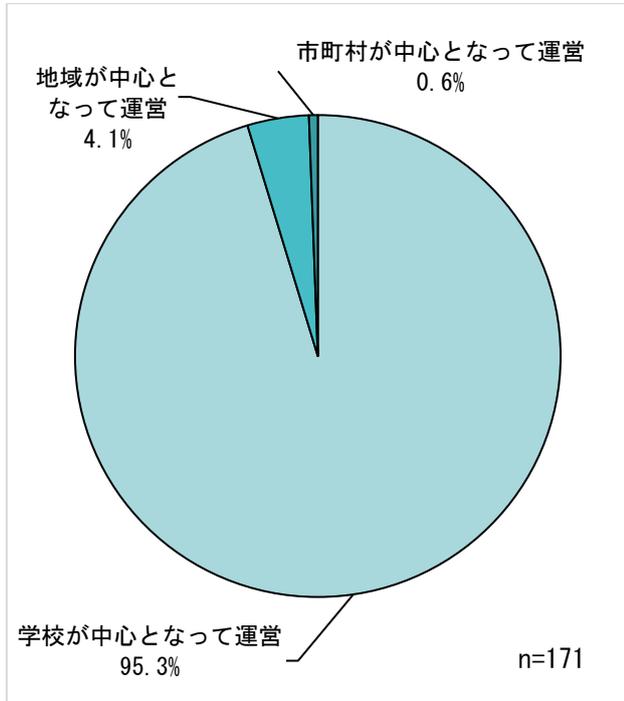
【学校運営協議会規定事項に関する状況②】

左の問いで「学校を選び、市町村へ推薦」と回答した場合、学校運営協議会の委員の選出方法はどのように行っていますか。



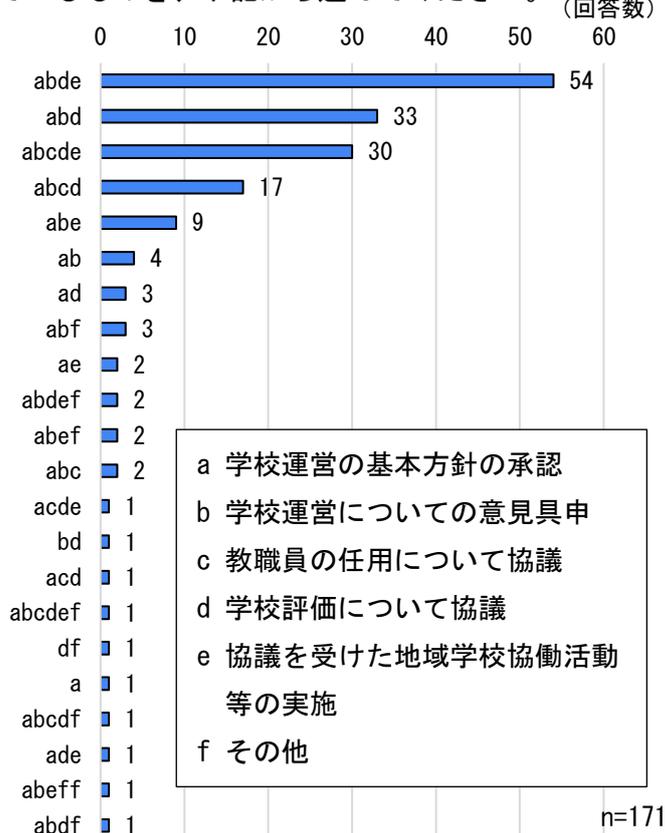
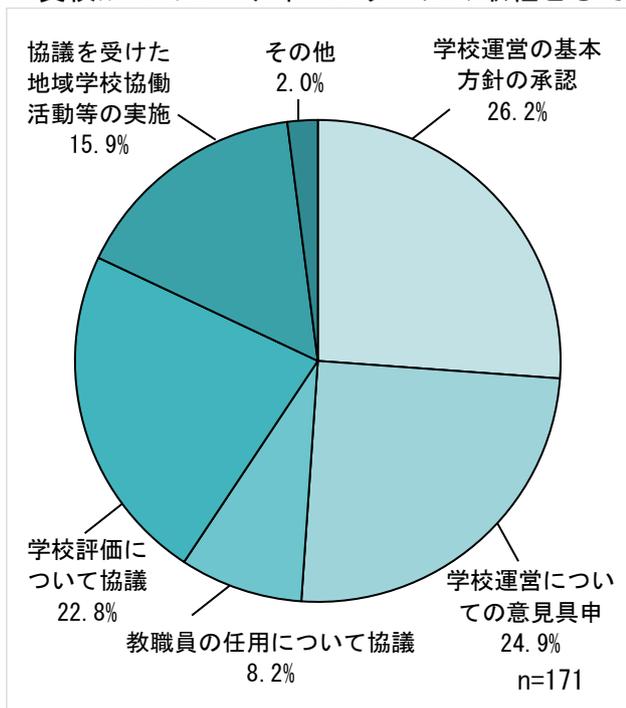
【学校運営協議会規定事項に関する状況③】

学校運営協議会の運営において、最も近いものを、以下の中から1つ選んでください。



【CSの運営に関する取組①】

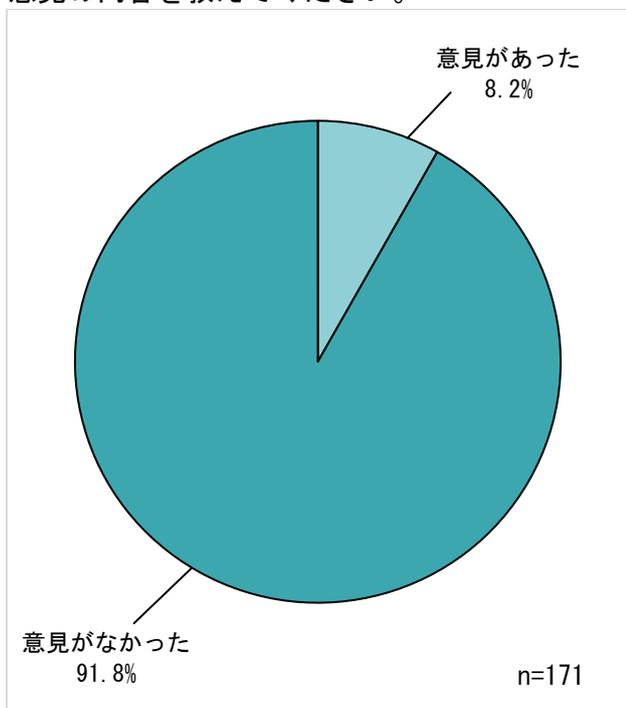
貴校がコミュニティ・スクールの取組として行っているものを、下記から選んでください。(回答数)



- a 学校運営の基本方針の承認
- b 学校運営についての意見具申
- c 教職員の任用について協議
- d 学校評価について協議
- e 協議を受けた地域学校協働活動等の実施
- f その他

【CSの運営に関する取組②】

上記の取組において、すべての子供が共に学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムに関する意見が提案されたことはありますか。「ある」と答えた方はインクルーシブ教育システムに関する意見の内容を教えてください。

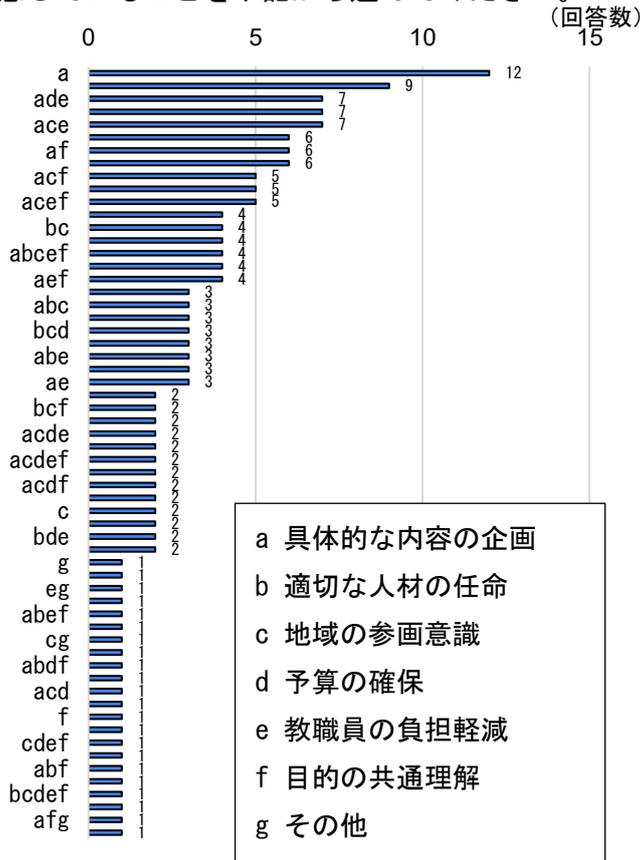
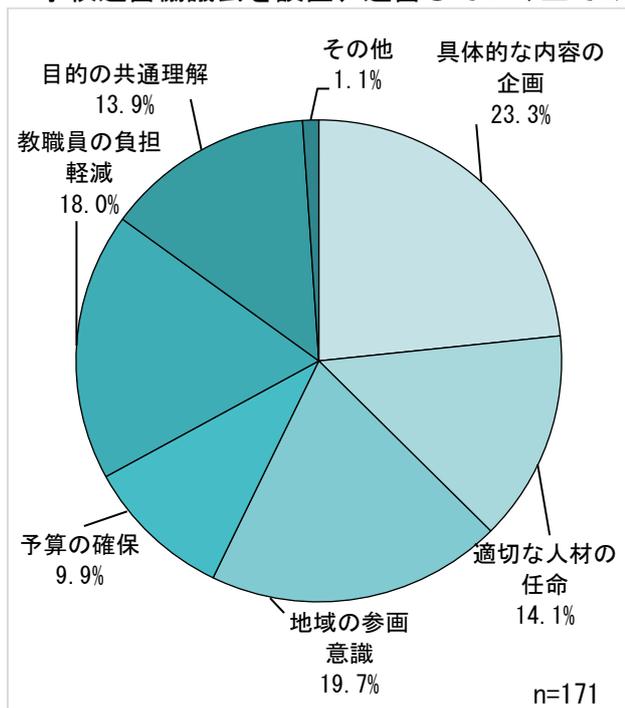


〈内容〉 n=14

- ・一人一人に応じた支援の充実
- ・普通学級にいる特別な配慮が必要な生徒の人数、不登校生徒数、不登校生徒への学校対応など
- ・通級教室について
- ・インクルーシブ教育に係る研修会の実施
- ・支援を要する児童への支援体制や支援の実際
- ・特別支援学級に限らず、すべての生徒が安心して活動できる支援体制と関係機関との連携
- ・小中連携してCSを運営する中で、個別の支援計画に基づいて、共同学習や学習行事を立案するなど、特別支援学級の生徒も通常学級の生徒と共に学ぶことができる指導体制づくりについて意見交換をしている
- ・不登校児童生徒の居場所づくりや、家庭に課題がある児童生徒についての支援について
- ・学校評価においてインクルーシブ教育がなされているかを確認している
- ・基本方針の地域行事・防災の中ですべての子供が参加できるように支援の協力を提案した
- ・特別支援学級の運営についての承認、学校行事等におけるすべての子供の居場所づくり
- ・入学して間もない1年生が、学校生活に慣れ、楽しく学習に取り組んでもらえるように、1年生のサポーター（ボランティア）に学級に入ってもらい、担任の補助をしてもらう
- ・北上地区は15年かけて子供を育てるというコンセプトから意見を出し合った
- ・一人一人の実態を把握した適切な教育課程の編成と教育活動の充実を図ることを確認した

【CSの運営に関する取組③】

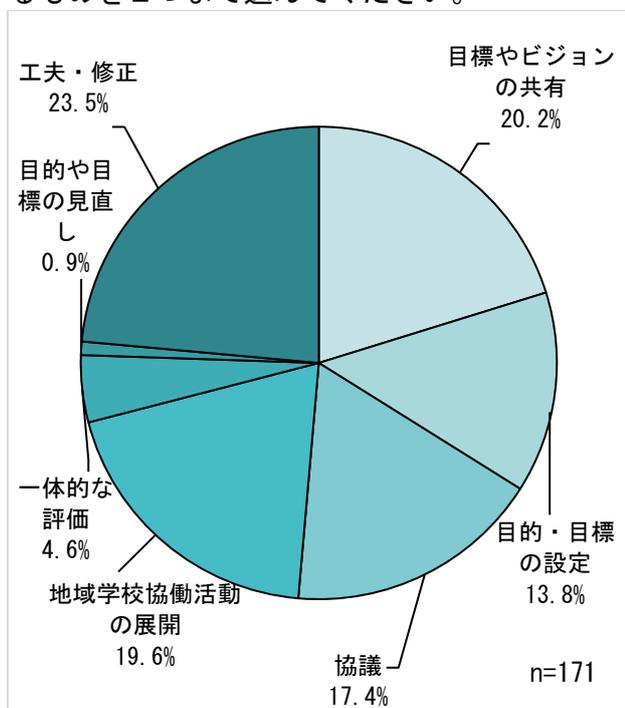
学校運営協議会を設置、運営していく上での課題と感じていることを下記から選んでください。



- a 具体的な内容の企画
- b 適切な人材の任命
- c 地域の参画意識
- d 予算の確保
- e 教職員の負担軽減
- f 目的の共通理解
- g その他

【CSの運営に関する取組④】

学校と地域が、子供たちの学びの充実のために、協議し、協働し、活動後の評価をして、また次の取組につなげていくというPDCAを回していくなかで、今後、特に力を入れていきたいと考えるものを2つまで選んでください。



- a 目標やビジョンの共有
- b 目的・目標の設定
- c 協議
- d 地域学校協働活動の展開
- e 一体的な評価
- f 目的や目標の見直し
- g 工夫・修正

n=171

3 コミュニティ・スクールの活動とインクルーシブ教育システムの視点

【CS運営に関する意識】

本研究において実施した別のアンケートにおいて、共に学ぶ仕組みであるインクルーシブ教育システムの構築が経年変化していくといった傾向が見られました。校内の人事異動にかかわらず共に学ぶ仕組みを保っていくために、社会総がかりで子供たちの健全育成を目指すコミュニティ・スクールの、どんな機能が有効活用できると思いますか。最も有効活用できると思われるものを1つ選んでください。

